

円滑な経営継承による地域農業の発展

～未来につなぐ農野牛農業～

十勝農業改良普及センター十勝東部支所 地域第二係

1 活動対象及び概要

★豊頃町農野牛地域(9戸)

- ・上農野牛地域は酪農経営が主体
- ・下農野牛地域は畑作と肉牛

【対象】

- ・畑作物の高位安定生産技術の定着「適正施肥の実施」

対象：畑作物栽培農家7戸

- ・後継者の資質向上「目標管理技術の向上」

対象：酪農後継者2戸

経営主の平均年齢：48.4歳

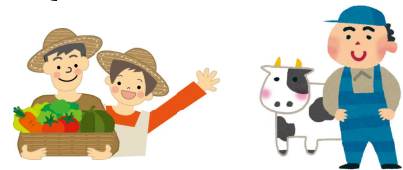
酪農専業：2戸

酪農+畑作：1戸

肉牛+畑作：2戸

畑作専業：3戸

園芸+畑作：1戸



2 背景・ねらい

適正施肥の実践

近年、生産資材が高騰してきている。施肥量の見直しや有機物を上手に使いたい。



しかし

施肥量の見直しは不安だよ

そこで

適正施肥実施に向けた不安の解消が必要

目標管理技術の向上

今後5年以内に経営継承を予定している後継者がいる



9戸中4戸に後継者
うち2戸が酪農経営

経営継承
に向けて

生産技術の向上と経営管理能力の向上
が必要

3 活動の経過

適正施肥の実践



適正施肥の提案



現地研修会

【令和5年度冬】
土壌分析値および有機物に基づく施肥を提案。
新たな農業者にも提案。

【活動のポイント】

1. これまで提案したことのない人にも個別で働きかけを行った。
2. 取り組みやすい内容の提案を心がけた。

ポイント



適正施肥に伴う不安の解消を図る

目標管理技術の向上

①後継者自らが課題を決め、解決に向けた取組を実施

A農家



蹄病による疾病の低減に向け、
蹄病の早期発見・治療
に取り組む！

B農家



粗飼料品質の向上に向け、
牧草地のエアレーションに取り組む！

②経営技術習得に向け、優良農家視察を実施

4 活動の成果

適正施肥の実践

【適正施肥を提案した結果→4戸6事例で適正施肥を実践した】

農業者名	作物	適正施肥の実施内容
D	小豆	鶏ふんの利用と基肥の半減(青年部の取組)
E	大豆	前作物(てんさい)および土壌分析値に基づく施肥(基肥の減肥)
	小豆	土壌分析値に基づく施肥(基肥の減肥)
H	大豆	土壌分析値に基づく施肥(基肥の減肥)
	小豆	土壌分析値に基づく施肥(基肥の減肥)
I	大豆	土壌分析値に基づく施肥(基肥の減肥)



I氏
「大豆でやってみたけど、来年は小豆も減らしてみようかな」

【適正施肥でコスト削減できたか？→平均26%削減できた】

農業者名	作物	施肥コスト削減率(%)
D	小豆	47
E	小豆	33
H	大豆	17
	小豆	17
I	大豆	17



次年度に向けて土壌分析値をもとに施肥量を農業者と一緒に計算

「あれ、意外と基肥いらな
いんだ」との声があがった。
来年産も適正施肥を検討

目標管理技術の向上

① 2戸中1戸(A農家)で自家の課題を解決！

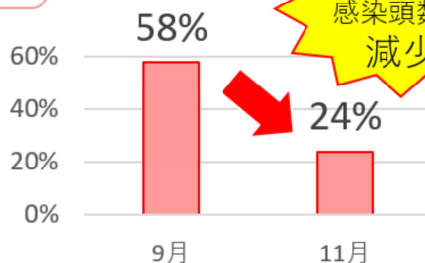
A農家



早期発見に向け、跛行スコアをチェック

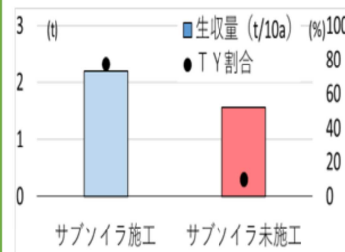
予防のために、できるタイミングで蹄浴もやってみましょう！

新規感染頭数



蹄病の新規感染頭数が減少

B農家



植生の差が大きく効果は判然としなかった...

リードカナリーグラスの多いほ場は早刈りを提案

② 優良農家視察に若手農業者8名参加



先輩農家の工夫している点を知ることができた

5 今後の対応

- (1) 適正施肥の定着に向けた実証および提案。
- (2) 飼養管理技術向上に向けたさらなる取組を行う。
- (3) 後継者の資質向上のための研修会や学習会の開催を引き続き実施する。